

## 「下部進行直腸癌における腹腔鏡下手術評価プロジェクト」追加調査

本邦における下部進行直腸癌の外科治療における、腹腔鏡下手術の意義を探索することを目的に、腹腔鏡下大腸切除研究会に参加している全国の施設において、2010年から2011年の間に各施設で手術を受けた下部進行直腸癌の患者さん1,500例について診療カルテから情報を抽出し、様々な検討をおこない報告してきました（UMIN試験ID:UMIN000013919）。

今回、研究に参加していただいた患者さんについて、長期の予後情報（手術後5年間の再発の発生や生存期間）と手術前の詳細な診断画像情報を収集し、更なる考察をおこなうため追加調査研究を実施します。調査対象は2010年1月から2017年1月までの手術に関する情報や手術後の経過に関する情報です。研究対象とならないことを希望する際には連絡をすれば、情報の削除が可能です。

本研究では、すべてのデータは匿名化されており、患者さんの個人情報を公開することはありません。研究に参加していただいた患者さんで、研究計画書や資料の閲覧を希望される場合は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で可能となりますのでお問い合わせください。この研究の主研究機関は当院の外科になりますので、問い合わせは当院外科にお願いします。（研究担当医師：山口高史、松末亮）

研究責任者：山口高史

京都医療センター外科

TEL 075-641-9161 FAX 075-643-4325

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1